

葛川へ行く前は「楽しいかな」と思っていたけれど、行ってみると「また行きたい」と思いました。すべての活動が楽しかったけれど、一番楽しかったのは、お箸を作ったことです。初めてというのもあるけれど、間伐材を使ったことで、森林にもやさしいということを学校で習ったので、より楽しく活動できたと思いました。一番かわいそうに思ったのはアマゴつかみです。アマゴに串を刺した時、下から白い液が出てきて「かわいそうだな」と思いました。でも、食べ終わるととてもおいしくて、とてもいい体験ができました。私の食べたアマゴは、卵が無かったので、卵も食べてみたいです。葛川でいい思い出が作れたので、一生忘れないと思います。よりいろいろなことが分かったので、これから詳しくいろんなことをいっぱい調べたいです。

いつも普通に使っているお箸だけれど、作ることは大変だということが分かりました。A号機とB号機がありました。「1」と書いてある所と「2」と書いてある所はA号機で、「3」と書いてある所と「4」と書いてある所はB号機でやらなくてはならなくて、その上、2本とも削らないといけませんでした。でも、一度削ってみたら止まらなくなるほど気持ちよかったです。お箸が完成したら、なぜかとてもうれしかったです。お箸が完成したら、なぜかとてもうれしかったです。もりもりクイズラリーでは、木についているヒントのような札を見付け、問題の答えを見つけ出しました。中にはまったく分からなかった問題もありました。その答えを知った時「なるほど」と思いました。森林について、もっと知りたいです。命の学習では、アマゴを捕まえてから食べるまで、すべて自分でやりました。捕まえるのはたやすいことでした。でも、竹串を刺すのがすごく大変で難しかったです。でも、何人かが声をかけてくれたので、がんばることができました。「アマゴの命をいただくということは、こういうことなんだ」と思いました。刺し終わり、もり森クイズラリーをやって、やっとアマゴを食べました。すごくおいしかったです。これからも、何かの命をいただくということがあると思います。その時は、おいしくいただきたいと思います。

児童の感想 (抜粋)

アマゴを食べる時、いつも魚を食べる時はただただ「おいしいな」と思っていたけど、自分たちで刺した(命をもらった)と思うと、食べている時「ありがとう」という気持ちがあふれてきました。次からお魚・お肉などを食べている時は「ありがとう」という気持ちも乗せて食べたいです。もり森クイズラリーの時に、自分が知らなかったことがたくさん分かりました。もっと工夫等を調べていきたいです。間伐材を使ったお箸作りでは、いつもはお箸の作り方なんか意識しないで使っていたけれど、自分の手で作ってみると手が痛くなり、とても大変だということが分かりました。間伐材が他のものに活用されているか調べたいです。調べ学習をがんばります。

命の学習や森林もりもりクイズラリーなど、すごく楽しかったです。命の学習で、アマゴをつかむのがすごく難しかったです。でも、アマゴを串に刺すときはちょっと怖かったけれど、命をせっかくいただくんだから、怖いのを吹き飛ばしました。森林のすごさやいろんな変化を見て、「山(森林)はすごいんだぞ！」と家族や友だちに教えてあげました。お箸作りは、あんな固い木からこんなにつるつるなお箸が作れて「ありがとうございます。」っていう気持ちです。こんな体験をさせてくれてありがとうございます。本当は1泊したかったけれど、コロナで1泊できません。皆さんもコロナに負けず、気をつけてください。時間があったらまた家族で、1泊させてくれるとうれしいです。ありがとうございます。

アマゴの卵がグミのような食感でした。アマゴの一番おいしかった所は頭でした。僕は自分で魚を串刺しにして食べるのは初めてで、魚を刺すのはこんなに固いということや、自分で刺して食べるとこんなにおいしいんだということが分かりました。もり森クイズラリーはとても難しかったけれど、いろんなことが分かって良かったです。

